

損保ジャパン 欧州国債オープン （毎月分配型）

〈愛称〉 ヨーロッパ便り

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	無期限
運用方針	<p>①ユーロ参加国を中心に欧州各国の信用度の高い国債を主要投資対象として、アクティブに運用します。 インカムゲインを重視するとともに、割安と考えられる国債の投資比率を上げることで、中長期的なトータルリターンの上を目指します。運用にあたっては、F T S E 欧州世界国債インデックスの国別配分を参考とします。</p> <p>②原則として、取得時においてBBB-（スタンダード・アンド・プアーズ社）またはBaa3（ムーディーズ・インベスターズ・サービス社）以上の格付を得ている信用度の高い銘柄を投資対象とします。国債への投資割合は原則として高位とします。</p> <p>③外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>④毎月決算を行い、組入れ債券の利子収入等を中心に、安定的な分配を行います。</p>
主要投資対象	欧州各国の国債
主な組入制限	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	<p>毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>①分配対象額の範囲は、繰越分を含めた利子、配当収入と売買益（評価損益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>②収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。原則として、利子、配当収入等を中心に安定分配を行います。ただし、基準価額水準、市場動向等によっては分配を行わないことがあります。</p>

第175期（決算日 2019年7月1日）
 第176期（決算日 2019年8月1日）
 第177期（決算日 2019年9月2日）
 第178期（決算日 2019年10月1日）
 第179期（決算日 2019年11月1日）
 第180期（決算日 2019年12月2日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、「損保ジャパン欧州国債オープン（毎月分配型）」は、このたび第180期の決算を行いましたので、第175期～第180期中の運用状況をご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。



損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント

東京都中央区日本橋二丁目2番16号 共立日本橋ビル

URL <https://www.sjnk-am.co.jp/>

お問い合わせ先



クライアントサービス第二部 0120-69-5432

（受付時間 営業日の午前9時～午後5時）

○最近30期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	準 価 額			債 組 入 比	券 率 率	純 資 産 総 額
		税 分	込 配	み 期 金 騰 落			
	円		円		%		百万円
151期(2017年7月3日)	6,208		20		2.4	96.4	1,181
152期(2017年8月1日)	6,304		20		1.9	94.9	1,179
153期(2017年9月1日)	6,328		20		0.7	96.2	1,168
154期(2017年10月2日)	6,390		20		1.3	94.9	1,168
155期(2017年11月1日)	6,431		20		1.0	93.8	1,158
156期(2017年12月1日)	6,492		20		1.3	94.9	1,156
157期(2018年1月4日)	6,475		20		0.0	95.9	1,140
158期(2018年2月1日)	6,476		20		0.3	95.0	1,131
159期(2018年3月1日)	6,194		20		△4.0	96.1	1,068
160期(2018年4月2日)	6,307		20		2.1	93.7	1,051
161期(2018年5月1日)	6,326		20		0.6	94.9	1,041
162期(2018年6月1日)	5,876		20		△6.8	94.5	941
163期(2018年7月2日)	5,984		20		2.2	95.5	949
164期(2018年8月1日)	6,030		20		1.1	93.5	933
165期(2018年9月3日)	5,807		20		△3.4	94.1	890
166期(2018年10月1日)	5,991		20		3.5	92.8	910
167期(2018年11月1日)	5,733		20		△4.0	94.3	855
168期(2018年12月3日)	5,823		20		1.9	95.5	858
169期(2019年1月4日)	5,600		20		△3.5	93.6	783
170期(2019年2月1日)	5,761		20		3.2	92.8	777
171期(2019年3月1日)	5,807		20		1.1	93.5	778
172期(2019年4月1日)	5,748		20		△0.7	91.6	743
173期(2019年5月7日)	5,715		20		△0.2	92.9	728
174期(2019年6月3日)	5,570		20		△2.2	94.2	700
175期(2019年7月1日)	5,743		20		3.5	93.0	708
176期(2019年8月1日)	5,697		20		△0.5	94.4	693
177期(2019年9月2日)	5,561		20		△2.0	95.6	668
178期(2019年10月1日)	5,615		20		1.3	91.8	669
179期(2019年11月1日)	5,694		20		1.8	92.7	672
180期(2019年12月2日)	5,625		20		△0.9	93.3	660

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 基準価額及び分配金は1万円当たり（以下同じ）。

(注3) 当ファンドは、ユーロ参加国を中心に欧州各国の信用度の高い国債を主要投資対象として、アクティブに運用するファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数は記載しておりません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

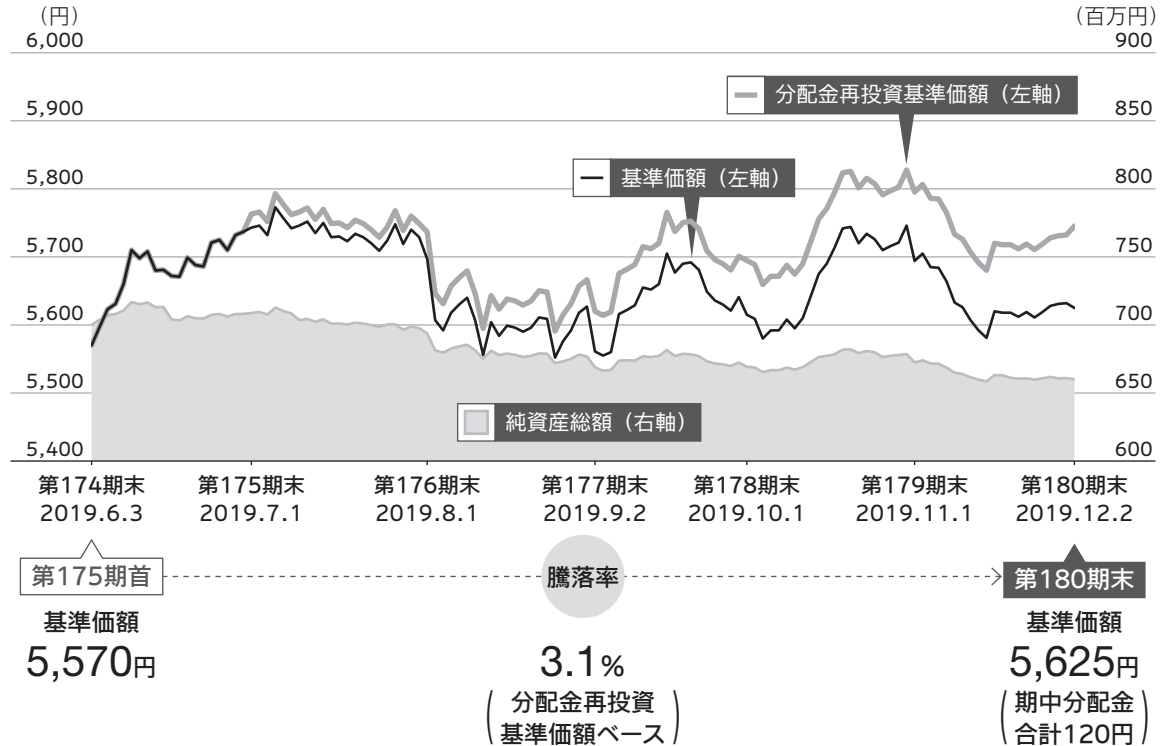
決 算 期	年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比 率
			騰 落 率	率	
第175期	(期 首) 2019年6月3日	円		%	%
		5,570		—	94.2
	6月末	5,737		3.0	92.7
第176期	(期 末) 2019年7月1日		5,763		93.0
	(期 首) 2019年7月1日		5,743		93.0
第176期			5,729		94.0
	7月末			△0.2	
	(期 末) 2019年8月1日		5,717		94.4
第177期	(期 首) 2019年8月1日		5,697		94.4
			5,627		95.3
	8月末			△1.2	
第177期	(期 末) 2019年9月2日		5,581		95.6
				△2.0	
	(期 首) 2019年9月2日		5,561		95.6
第178期			5,641		91.5
	9月末			1.4	
	(期 末) 2019年10月1日		5,635		91.8
第179期	(期 首) 2019年10月1日		5,615		91.8
			5,746		92.4
	10月末			2.3	
第179期	(期 末) 2019年11月1日		5,714		92.7
				1.8	
	(期 首) 2019年11月1日		5,694		92.7
第180期			5,632		93.0
	11月末			△1.1	
	(期 末) 2019年12月2日		5,645		93.3
				△0.9	

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注2) 当ファンドは、ユーロ参加国を中心に欧州各国の信用度の高い国債を主要投資対象として、アクティブに運用するファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数は記載しておりません。

運用経過

● 基準価額の推移



- 分配金再投資基準価額の推移は、2019年6月3日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、ユーロ参加国を中心に欧州各国の信用度の高い国債を主要投資対象として、アクティブに運用するファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数は記載しておりません。

● 基準価額の主な変動要因

債券利回りが総じて低下（価格は上昇）したことを主因に分配金再投資基準価額は上昇しました。

● 投資環境

【債券市場】

○欧州債券市場

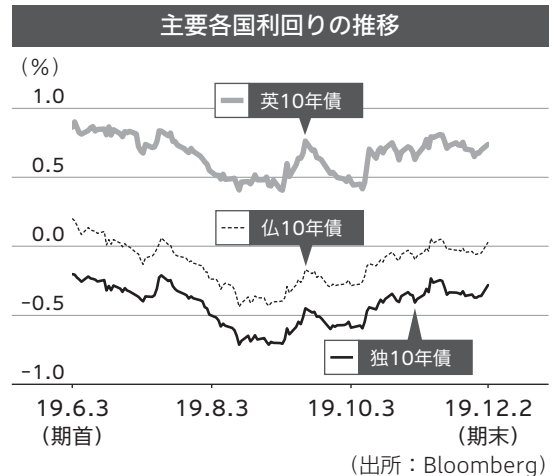
ドイツ債券利回りは低下（価格は上昇）

欧州の景気減速懸念が高まるなか、ECB（欧州中央銀行）が追加の金融緩和策を決定したことなどから、利回りは低下しました。

○英国債券市場

英国債券利回りは低下（価格は上昇）

ECBやFRB（米連邦準備理事会）が利下げを行い、世界的に債券利回りが低下したことや、英国のEU（欧州連合）離脱を巡る不透明感が継続したことなどから、利回りは低下しました。



【為替市場】

○ユーロ円市場

円高ユーロ安

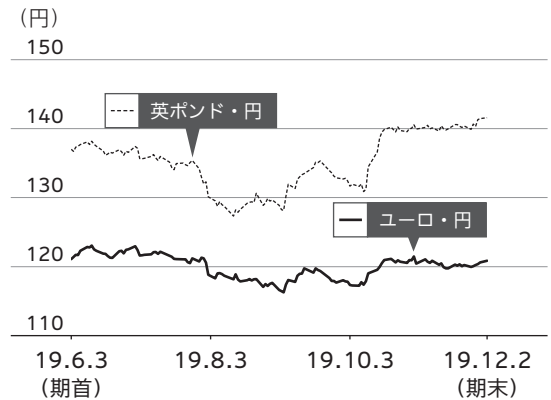
欧州の景気減速懸念が高まるなか、ECBが追加の金融緩和策を決定したことなどから、円高ユーロ安となりました。

○ポンド円市場

円安ポンド高

英国のEU離脱を巡り2019年10月末の合意なき離脱が回避されたことなどから、ポンドが買い戻され、円安ポンド高となりました。

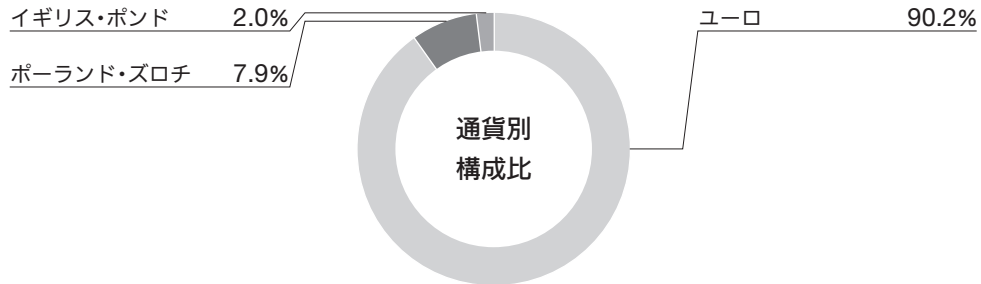
為替レートの推移



注. 為替レートは対顧客電信売買相場の仲値を使用しております。

● 当該投資信託のポートフォリオ

FTSE欧州世界国債インデックスの国別配分を参考として、安定したインカムゲインの確保を目指し運用を行いました。



注1. 比率は、第180期末における組入債券評価額に対する割合。

注2. 端数処理の関係上、構成比合計が100%とならないことがあります。

● 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、ユーロ参加国を中心に欧州各国の信用度の高い国債を主要投資対象として、アクティブに運用するファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数は記載しておりません。

● 分配金

収益分配金については、基準価額水準、市場動向等を勘案し、合計で120円の分配を行いました。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり・税引前）

項目	第175期 2019.6.4 } 2019.7.1	第176期 2019.7.2 } 2019.8.1	第177期 2019.8.2 } 2019.9.2	第178期 2019.9.3 } 2019.10.1	第179期 2019.10.2 } 2019.11.1	第180期 2019.11.2 } 2019.12.2
当期分配金	20	20	20	20	20	20
（対基準価額比率）	0.347%	0.350%	0.358%	0.355%	0.350%	0.354%
当期の収益	20	16	16	20	20	16
当期の収益以外	—	3	3	—	—	3
翌期繰越分配対象額	126	123	119	120	120	117

注1. 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

注2. 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

注3. 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

決算期毎にインカム収入^{*}を中心に分配を行うことを目指すファンドです。

※ インカム収入とは、債券の利子収入等をいいます。

- ・ ファンドに蓄積された過去の運用成果（分配原資）を加味する場合があります。
- ・ 投資対象資産や為替の値動き等により基準価額が下落した場合でも、原則として、インカム収入相当については、分配を行います。

● 今後の運用方針

今後もインカムゲインを重視しつつ、投資妙味が高いと考えられる銘柄の組入れにより、分散投資を意識したポートフォリオ構成とし、中長期的なトータルリターンの上を目指します。

● 1万口当たりの費用明細

項目	第175期～第180期 2019.6.4～2019.12.2		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	33円	0.574%	(a) 信託報酬 = 各期中の平均基準価額 × 信託報酬率 (年率) × $\frac{\text{各期の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は5,685円です。
(投信会社)	(16)	(0.274)	ファンドの運用の対価
(販売会社)	(16)	(0.273)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(2)	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	2	0.041	(b) その他費用 = $\frac{\text{各期中のその他費用}}{\text{各期中の平均受益権口数}}$
(保管費用)	(2)	(0.037)	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
(監査費用)	(0)	(0.002)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(0)	(0.001)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	35	0.615	

注1. 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

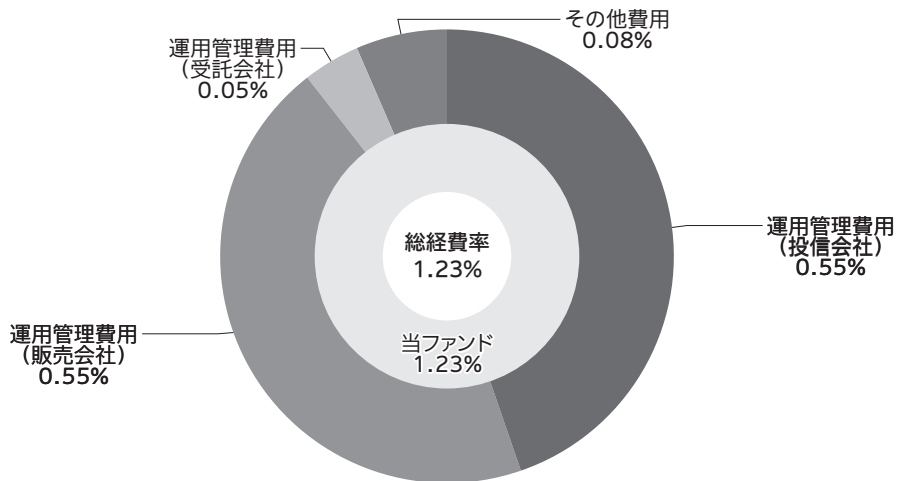
注2. 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

注3. 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

（参考情報）

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.23%**です。



注1. 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

注2. 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

注3. 各比率は、年率換算した値です。

注4. 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2019年6月4日～2019年12月2日)

公社債

			第175期～第180期	
			買付額	売付額
外国	ユーロ		千ユーロ	千ユーロ
	スペイン	国債証券	405	601
	ポーランド	国債証券	千ポーランド・ズロチ —	千ポーランド・ズロチ 1,122

(注1) 金額は受渡代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2019年6月4日～2019年12月2日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2019年12月2日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区分	第180期末							
	額面金額	評価額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	千円	%	%	%	%	%
イタリア	1,920	2,672	322,983	48.9	—	32.6	16.4	—
フランス	150	222	26,860	4.1	—	4.1	—	—
スペイン	1,160	1,699	205,353	31.1	—	27.9	2.8	0.4
イギリス	千イギリス・ポンド 65	千イギリス・ポンド 84	12,025	1.8	—	1.1	—	0.7
ポーランド	千ポーランド・ズロチ 1,550	千ポーランド・ズロチ 1,726	48,384	7.3	—	—	7.3	—
合計	—	—	615,607	93.3	—	65.6	26.5	1.1

(注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄			第180期末				
			利率	額面金額	評価額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
ユーロ			%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
イタリア	国債証券	ITALY 7.25 261101	7.25	1,250	1,778	214,946	2026/11/1
		ITALY 9.0 231101	9.0	670	893	108,036	2023/11/1
フランス	国債証券	FRANCE 5.5 290425	5.5	100	153	18,525	2029/4/25
		FRANCE 6.0 251025	6.0	50	68	8,335	2025/10/25
スペイン	国債証券	SPAIN 5.4 230131	5.4	130	153	18,530	2023/1/31
		SPAIN 5.5 210430	5.5	20	21	2,620	2021/4/30
		SPAIN 6.0 290131	6.0	1,010	1,524	184,202	2029/1/31
小計						555,197	
イギリス				千イギリス・ポンド	千イギリス・ポンド		
	国債証券	UK GILT 6.0 281207	6.0	35	51	7,304	2028/12/7
		UK GILT 8.0 210607	8.0	30	33	4,721	2021/6/7
小計						12,025	
ポーランド				千ポーランド・ズロチ	千ポーランド・ズロチ		
	国債証券	POLAND 5.75 220923	5.75	1,550	1,726	48,384	2022/9/23
小計						48,384	
合計						615,607	

(注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

*当ファンドは、第180期末において、直接投資をする株式及び新株予約権証券の組入れはありません。

○投資信託財産の構成

(2019年12月2日現在)

項目	第180期末	
	評価額	比率
	千円	%
公社債	615,607	92.8
コール・ローン等、その他	47,477	7.2
投資信託財産総額	663,084	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 第180期末における外貨建資産（643,543千円）の投資信託財産総額（663,084千円）に対する比率は、97.1%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

なお、第180期末における邦貨換算レートは、1ユーロ=120.86円、1イギリス・ポンド=141.59円、1ポーランド・ズロチ=28.02円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第175期末	第176期末	第177期末	第178期末	第179期末	第180期末
	2019年7月1日現在	2019年8月1日現在	2019年9月2日現在	2019年10月1日現在	2019年11月1日現在	2019年12月2日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	712,426,247	696,874,084	674,480,651	672,561,234	677,731,248	663,084,268
コール・ローン等	43,127,282	29,811,046	20,464,207	44,462,517	37,893,428	37,503,494
公社債(評価額)	659,388,555	654,623,889	639,294,892	614,153,514	623,420,966	615,607,655
未収利息	9,761,715	12,248,103	14,483,289	12,561,216	14,967,174	8,463,892
前払費用	—	—	—	1,098,039	1,122,171	1,126,084
その他未収収益	148,695	191,046	238,263	285,948	327,509	383,143
(B) 負債	3,613,421	3,114,478	5,513,435	3,269,841	5,316,747	2,999,753
未払収益分配金	2,468,498	2,435,442	2,405,835	2,383,763	2,361,913	2,347,131
未払解約金	527,825	778	2,431,328	276,867	2,292,157	—
未払信託報酬	614,667	675,638	673,683	606,713	660,122	649,907
未払利息	98	57	33	92	50	39
その他未払費用	2,333	2,563	2,556	2,406	2,505	2,676
(C) 純資産総額(A-B)	708,812,826	693,759,606	668,967,216	669,291,393	672,414,501	660,084,515
元本	1,234,249,074	1,217,721,450	1,202,917,998	1,191,881,877	1,180,956,850	1,173,565,809
次期繰越損益金	△ 525,436,248	△ 523,961,844	△ 533,950,782	△ 522,590,484	△ 508,542,349	△ 513,481,294
(D) 受益権総口数	1,234,249,074口	1,217,721,450口	1,202,917,998口	1,191,881,877口	1,180,956,850口	1,173,565,809口
1万口当たり基準価額(C/D)	5,743円	5,697円	5,561円	5,615円	5,694円	5,625円

(注1) 当作成期間（第175期～180期）における期首元本額1,256,960,438円、期中追加設定元本額4,418,604円、期中一部解約元本額87,813,233円

(注2) 期末における1口当たりの純資産総額
 第175期0.5743円、第176期0.5697円、第177期0.5561円、第178期0.5615円、第179期0.5694円、第180期0.5625円

(注3) 期末における元本の欠損金額
 第175期525,436,248円、第176期523,961,844円、第177期533,950,782円、第178期522,590,484円、第179期508,542,349円、第180期513,481,294円

○損益の状況

項 目	第175期	第176期	第177期	第178期	第179期	第180期
	2019年6月4日～ 2019年7月1日	2019年7月2日～ 2019年8月1日	2019年8月2日～ 2019年9月2日	2019年9月3日～ 2019年10月1日	2019年10月2日～ 2019年11月1日	2019年11月2日～ 2019年12月2日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	2,551,839	2,728,590	2,723,526	2,687,717	2,506,411	2,612,617
受取利息	2,526,898	2,700,426	2,691,043	2,649,128	2,484,098	2,565,415
その他収益金	26,721	30,069	33,501	40,826	23,526	48,448
支払利息	△ 1,780	△ 1,905	△ 1,018	△ 2,237	△ 1,213	△ 1,246
(B) 有価証券売買損益	21,966,247	△ 5,182,055	△ 15,958,211	6,810,271	9,816,496	△ 7,691,156
売買益	22,242,059	9,144,157	7,773,341	8,877,704	15,621,953	2,243,252
売買損	△ 275,812	△ 14,326,212	△ 23,731,552	△ 2,067,433	△ 5,805,457	△ 9,934,408
(C) 信託報酬等	△ 686,591	△ 678,201	△ 724,003	△ 660,197	△ 710,529	△ 699,601
(D) 当期損益金(A+B+C)	23,831,495	△ 3,131,666	△ 13,958,688	8,837,791	11,612,378	△ 5,778,140
(E) 前期繰越損益金	△468,068,337	△440,489,617	△440,418,455	△452,199,372	△441,251,825	△429,095,215
(F) 追加信託差損益金	△ 78,730,908	△ 77,905,119	△ 77,167,804	△ 76,845,140	△ 76,540,989	△ 76,260,808
(配当等相当額)	(6,006,650)	(5,931,269)	(5,863,478)	(5,817,930)	(5,773,384)	(5,741,190)
(売買損益相当額)	(△ 84,737,558)	(△ 83,836,388)	(△ 83,031,282)	(△ 82,663,070)	(△ 82,314,373)	(△ 82,001,998)
(G) 計(D+E+F)	△522,967,750	△521,526,402	△531,544,947	△520,206,721	△506,180,436	△511,134,163
(H) 収益分配金	△ 2,468,498	△ 2,435,442	△ 2,405,835	△ 2,383,763	△ 2,361,913	△ 2,347,131
次期繰越損益金(G+H)	△525,436,248	△523,961,844	△533,950,782	△522,590,484	△508,542,349	△513,481,294
追加信託差損益金	△ 78,730,908	△ 77,905,119	△ 77,167,804	△ 76,845,140	△ 76,540,989	△ 76,260,808
(配当等相当額)	(6,006,650)	(5,931,269)	(5,863,478)	(5,817,930)	(5,773,384)	(5,741,190)
(売買損益相当額)	(△ 84,737,558)	(△ 83,836,388)	(△ 83,031,282)	(△ 82,663,070)	(△ 82,314,373)	(△ 82,001,998)
分配準備積立金	9,569,500	9,056,890	8,542,749	8,578,466	8,494,510	8,007,303
繰越損益金	△456,274,840	△455,113,615	△465,325,727	△454,323,810	△440,495,870	△445,227,789

(注1) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 信託報酬等には、消費税相当額を含めて表示しております。

(注3) 追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程（2019年6月4日～2019年12月2日）は以下の通りです。

項 目	2019年6月4日～ 2019年7月1日	2019年7月2日～ 2019年8月1日	2019年8月2日～ 2019年9月2日	2019年9月3日～ 2019年10月1日	2019年10月2日～ 2019年11月1日	2019年11月2日～ 2019年12月2日
a. 配当等収益(費用控除後)	2,480,365円	2,050,389円	1,999,523円	2,500,881円	2,361,889円	1,913,016円
b. 有価証券等損益額(費用控除後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
c. 信託約款に規定する収益調整金	6,006,650円	5,931,269円	5,863,478円	5,817,930円	5,773,384円	5,741,190円
d. 信託約款に規定する分配準備積立金	9,557,633円	9,441,943円	8,949,061円	8,461,348円	8,494,534円	8,441,418円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	18,044,648円	17,423,601円	16,812,062円	16,780,159円	16,629,807円	16,095,624円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	146円	143円	139円	140円	140円	137円
g. 分配金	2,468,498円	2,435,442円	2,405,835円	2,383,763円	2,361,913円	2,347,131円
h. 分配金(1万口当たり)	20円	20円	20円	20円	20円	20円

○分配金のお知らせ

	第175期	第176期	第177期	第178期	第179期	第180期
1万円当たり分配金（税込み）	20円	20円	20円	20円	20円	20円

<分配金をお支払いする場合>

- ・分配金は、原則として各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しています。

<分配金を再投資する場合>

- ・お手持り分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資しています。

<課税上の取扱いについて>

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配金落ち後の基準価額が個別元本と同額の場合または個別元本を上回っている場合は、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配金落ち後の基準価額が個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、収益分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人の受益者に対する課税
 税率は普通分配金について、20.315%（所得税及び復興特別所得税15.315%、並びに地方税5%）です。

※上記は源泉徴収時の税率であり、税率は課税方法等により異なる場合があります。

※少額投資非課税制度「愛称：NISA（ニーサ）」をご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得及び譲渡所得が5年間非課税となります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

※法人の受益者に対する課税は、税率が異なります。

※上記内容は、税法が改正された場合等には変更になることがあります。

※課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家または税務署等にご確認ください。

○お知らせ

- ・投資信託の監査にかかる費用を適切に反映させるため、2020年1月から、監査費用の徴収方法を変更することと致しました。
- ・受益者の利益に資すると考え、投資信託約款の「受託者の自己または利害関係人等との取引」の追加等の変更を行いました（2019年7月1日）。